九国プレ 2009

解答・解説

九州国際大学付属中学校

― 国　語 ―

一 （40点）

問一　ⓐ 断（り）　ⓑ 乱暴　ⓒ 適（し）　ⓓ 印象　ⓔ 捨（て）　（各2点）

問二　A ウ　B ア　C エ　（各2点）

問三　文字の意味を化してきた　（3点）

問四　（iの音）　小さな　かわいらしい　（3点）

（uの音）　柔らかい　小さなもの　（3点）

問五　ウ　（3点）

問六　（例）田舎子　（3点）

問七　A 万葉　B 音　C ひら　（各2点）

問八　エ　（3点）

二 （40点）

問一　ⓐ あらわ（す）　ⓑ も（って）　ⓒ みすけ　ⓓ （お）ぢ（け）

ⓔ かじつ　（各2点）

問二　A エ　B ウ　C イ　D ア　（各2点）

問三　A おじいさん　B 目と目の間が離れている　C なぞが気に入ってしまった

D しげしげ　（各2点）

問四　死んでいる　（2点）

問五　（だれの）　おじいさんの　（2点）

（様子）　ぼくたちに会うことがうれしくて、おじいさん回復準備して、洗ったまま

眠っている様子。（4点）

問六　ア　（3点）

問七　エ　（3点）

三 （20点）

問一　① 口　② 鼻　③ 額

問二　① ○　② ×　③ ○

問三　① 関　② 断　③ 考　④ 理　（各2点）

解　説

一

問三　説明文の特徴である、最初の段落に問いかけをしておいて、最後の段落でその答えを示す形です。問いの「どのように変化してきた」のですか、という言葉にもヒントがあります。このような説明文の特徴と問いの仕方にも注意していくと、案外楽に答えが見つかります。

問四　ぼう線直後に「花子式」の名前の例が示され、その次に理由の説明がされています。「親たちがそういう音のイメージを好むようになってきた」とあります。ここで注意してほしいのは、次の段落の最初にある「それと同時に」という言葉です。もう一つ理由があるということです。それは、「語いとはのなかで考えられていること」つまり、「音を優先して考え」ているということです。

問六　少しとまどったかもしれませんが、「文脈に合わせて」考えると、ひらがなのように漢字を当てるということですから、「ニ」「リ」「ヨ」とそれぞれ発音する漢字を考えて当てはめてくれれば、正解です。

問八　「あてはまらないもの」という指示に注意してください。エの「この時代ますます」という言葉がひっかかります。最初から五行目に、「本来、…美しいもの」「ながには、ひどいものもあります。」として、「留子」や「来子」が例としてあげられています。だから、これが当てはまりません。その他のものは、ＯＫです。

二

問二　Ａ…すぐには気がつかないほどの秋の気配が「時々涼しい風が流れる」と受けられているので、「ひっそりと」です。Ｂ…これも、おじいさんが眠っているから、起こさないように細心を謂けると考えられるので「そっそっと」が適当です。Ｃ…ぼくたちは、「体の奥で」おじいさんの死を感じ取っています。すると、「ぜっきりと」が適当です。Ｄ…おじいさんが死んでしまったことに気づいた後、その悲しみを振り払おうとするかのように涙をぬぐうことなので、「ぐいっと」です。

問三　ぼくと山下は、河辺が「おじいさん」のおみやげとして買ったカエルのぬいぐるみが、河辺本人にそっくりだと気づく。そして、河辺がそのことに気づかないまま「なぜか気に入ってしまった」と言って、「じげじげ」とカエルのぬいぐるみを見ているところに、二人はおもしろさを感じています。

問五　ぼくたちが合宿で島に行っていた間、その帰りを今か今かと期待して待っていたおじいさん。そして、帰ってくる当日、ぼくたちを驚かせようとびっくを人数分の四房用意して、その夜おじいさんは眠りについてしまう。待ち遠しいことがある前日は、そのことをどう楽しもうか

ところいろ考えてみたり、準備してみたりするものです。そのおじいさんの様子を、「遠足に行く前のガキみたいだね」というて笑おうとしても、逆に涙があふれて仕方がない悲しさを読み味わってほしいと思います。

問六　「長い間着古した服」は、はだにもなじみ、体をぴったりと感じて包んでくれます。ぼくたちにとって、おじいさんは、まさしくその服のように、「やさしく、親しげ」なものであったことがわかります。それをうまく表現した熟語は、「愛着」ということになります。

問七　ぼくとおじいさんとの関係は、歳は離れていますが大切な友達のようなものです。そんな親友が、ぼくたちのことを案じようとしながら死んでいたとしたら…。その悲しみは、計り知れないものがあるでしょう。そのような悲しい気持ちを表現しているのは、「エ」だけです。

― 算　数 ―

1　（４点×５＝２０点）

（１）４８　（２）１８　（３）$\frac{7}{12}$　（４）１６　（５）１１．５７

2　（５点×５＝２５点）

（１）　$2500 \times 0.7 = 1750$　答 1750 円

（２）　$3 \times 5 \times 7 = 105$　答 $105cm^3$

（３）　$30 \div 50 \times 60 = 36$　答 36 分

（４）　三角形の内角の和は 180 度なので
もうひとつの内角は 180°－（65°＋40°）＝75°
したがって、180°－75°＝105°　答 105 度
（三角形の二つの内角の和はもう一つの角の外角に等しくなります。）

（５）　かき２個のねだんは９００－７２０＝１８０円です。
だから、かき１個のねだんは１８０÷２＝９０円です。
なしのねだんは７２０÷３－９０＝１５０円です。　答 なし…150 円，かき…90 円

3　（５点×３＝１５点）

（１）　$22 \times 3.14 = 69.08$　答 $69.08mm$

（２）　$33 \times 10 \div 22 = 15$　答 15 個

（３）

$$22 \times 22 - 11 \times 11 \times 3.14 = 4 \times 11 \times 11 - 11 \times 11 \times 3.14 = (4 - 3.14) \times 11 \times 11$$
$$= 0.86 \times 11 \times 11 = 104.06$$

小数第１位を四捨五入して　$104mm^2$　答 $104mm^2$

4　（５点×４＝20点　※(２)はそれぞれ５点）

（１）　$30\times40-(30\times10\div2+30\times20\div2+40\times10\div2)=550$　　答　$550cm^2$

（２）　４秒後の面積は$10\times40\div2=200$　　答　$200cm^2$

７秒後の面積は$30\times10\div2=150$　　答　$150cm^2$

（３）　面積が$200cm^2$になるのは、グラフから読み取ると、４秒後、６秒後、１１秒後

答　４秒後、６秒後、１１秒後

5　（５点×４＝２０点　※(１)はそれぞれ５点）

（１）　３より大きく４より小さい分数は　$\frac{22}{7},\frac{23}{7},\frac{24}{7},\frac{25}{7},\frac{26}{7},\frac{27}{7}$　の６個

また、それらをたすと

$$\frac{22}{7}+\frac{23}{7}+\frac{24}{7}+\frac{25}{7}+\frac{26}{7}+\frac{27}{7}=3\times6+\frac{1}{7}+\frac{2}{7}+\frac{3}{7}+\frac{4}{7}+\frac{5}{7}+\frac{6}{7}=18+3=21$$

答　６個，21

（２）　６５÷６＝１０あまり５

したがって、分子は７×１０＋５＝７５

よって、$\frac{75}{7}$　　答　$\frac{75}{7}$

（３）　$\frac{561}{7}=80\frac{1}{7}=75\frac{36}{7}$

また、$\frac{1}{7}+\frac{2}{7}+\frac{3}{7}+\frac{4}{7}+\frac{5}{7}+\frac{6}{7}=3$なので、

$$\frac{1}{7}+\frac{2}{7}+\frac{3}{7}+\frac{4}{7}+\frac{5}{7}+\frac{6}{7}$$
$$+\frac{8}{7}+\frac{9}{7}+\frac{10}{7}+\frac{11}{7}+\frac{12}{7}+\frac{13}{7}$$
$$+\frac{15}{7}+\cdots+\frac{20}{7}+\frac{22}{7}+\cdots+\frac{27}{7}+\frac{29}{7}+\cdots+\frac{34}{7}$$

＝３＋（６×１＋３）＋（６×２＋３）＋（６×３＋３）＋（６×４＋３）＝７５

したがって、６×５＋１＝３１番目の分数までをたしたもの

答　３１番目